

個人
質問 山本 正美

◆四つ角交差点改良とまちづくり

問 市内の交通渋滞の現状をどのように分析等しているか。

市長 自動車保有台数の増加や集客施設等が郊外に点在していること等から、市街地を通過する車両が増加しており、また主要幹線道路形態の特異性から、通勤時間帯のみならず主要交差点付近で車両が滞留し、通過車両を処理しきれず交通渋滞を引き起こしていると考えています。

問 八街バイパス整備で四つ角の慢性渋滞が解消されるのか。また、四つ角の交差点改良について、

四つ角を中心とする沿道地区計画等のまちづくりを進める中で交差点改良等の道路整備を考えられないか。

市長 現在取り組んでいる都市計画道路3・4・3号線等の八街バイパスの完成によって主に東西方向の渋滞は解消され

るものと考えています。また、市街地中心部のこの交差点改良は、バイパス完成の状況を見ながら、内容や整備手法等を県と協議・検討したい。

◆商業振興について

問 今年度の商業振興への取り組みはどうか。また、新年度における取り組みは。

市長 平成15年度の商業振興に係る取り組みは、商店街等組織化推進事業及びふさの国商店街ににぎわい促進事業、大型店進出対策資金利子補給事業を実施して、商業者や商店会等を支援しました。16年度は、街路灯電灯料補助事業及び商店街等組織化推進事業等を引き続き実施し、商店街等



▲四つ角(国道409号、主要地方道千葉・八街・横芝線交差点)

を支援したい。

問 本市の中心市街地の活性化が何故必要か。

市長 JR八街駅を中心とする市街地は、商業、居住等の都市機能が集積し、長い歴史の中で文化、伝統を育み、各種の機能を担ってきた「街の顔」とも言うべき地域であり、この地域がにぎわうことにより商業が振興するとともに人々の交流が生まれるなど、より一層の商業集積が図られ、さらに経済的効果に波及してくるものと認識しています。

◆学校教育振興について

問 児童生徒の問題行動等の原因・背景等をどのように捉えているか。

教育長 大勢で遊ぶ、友人と語り合う、他人と協力し合うといった多様な人間関係の中で社会性や対人関係能力を身につける機会が減り、学校や地域社会といった本来社会性を育成する場で、社会性が育まれにくくなっていると考えます。

問 豊かな人間性の育成のための具体的な取り組みは。

教育長 八街市教育事業重点計画として、幼小中高連携教育推進事業、育て八街

つ子推進事業、歯と口の健康づくり推進事業、地域ミニ集会事業の4事業を掲げ、子供たちの健全育成を図ることによって、豊かな人間性を育む取り組みをしており、今後も子供の豊かな人間性を育むために、各学校が創意工夫した取り組みがなされるよう支援したい。

個人
質問 加藤 弘

◆消防団強化育成等による防犯力強化について

問 消防団の現状と消防団員育成にどのように取り組んでいるか。また、消防協力団育成充実に取り組むべきと考えるがどうか。

市長 近年、就業構造等の変化により、消防団員の確保が大変困難となっている現状のなか、今後消防団の基本理念である「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを市民に啓発し、連帯意識の向上と地域社会の関心を高め、身近な存在としての消防団を育成、充実することにより団員確保を図り、消防団員以外の協力者は、消防の活動は危険性が

高く、公務災害も少なくないことを考え、各分団の声を聞きながら検討したい。

問 他市町村における防犯のための自警団の状況は。また、地域防犯力向上のために自警団結成の支援等を進めるべきと考えるが伺う。

市長 近隣市では、昨年あたりから住民によって自警団が結成され、警察及び行政がその活動を支援するといった動きがあり、本市での地域防犯力の向上は、自警団結成の支援等も含め、具体的な方法や効果、安全面などについて、今後、警察、区長など関係機関と十分に協議・調整を図りながら検討したい。

◆高齢者福祉の充実について

問 介護保険制度に関する本市の現状と課題は。

市長 制度の定着とともにサービス利用が伸びており、おおむね順調に推移していると考えています。基盤整備の面では入所待機者が増えていることから、今後、広域的な観点から調整を図りながら整備を進めたい。

問 介護サービス利用者の状況把握はどのようになされているのか。

市長 3年ごとに行う介護保険事業計画の見直しとともに、利用者の利用状況や要望などについてアンケート調査を行っています。また、在宅介護支援センターや担当課窓口、ケアマネジャーや施設担当者との連絡会等で情報交換を行い、利用者の状況把握に努めています。

◆障害者福祉充実について

問 障害者の生活支援充実のためにの取り組みは。

市長 ホームヘルパーの派遣や在宅障害者が通所して創作的活動・機能訓練を行い、自立を図るためのデイサービス事業、障害者のニーズに対応した日常生活用具や補装具の給付・貸与などの在宅福祉サービスなど実施しています。

問 障害者の自立・社会参加のための雇用・就業確保への取り組みは。

市長 県障害者職業センターや各施設と連携をとり、本人や家族と話し合い、障害を持った方の個性が発揮できるような各種訓練施設を紹介し、必要に応じて施設の面接の立ち会いなどを行っています。